

令和4年度 神奈川県立厚木東高等学校 第77回入学式
校長式辞

「学ぶこと」に真摯な若者たれ！



【はじめに】

満開になったあと、この日の為にその姿を保ち続けていた校内の桜たちが、花びらを舞わせて皆さんを祝福しています。

神奈川県立厚木東高等学校への入学、おめでとう！

保護者の皆様におかれましては、お子様が義務教育課程を修められ今日の日をお迎えになられたこと、高い所からではございますが、心よりお喜び申し上げます。

【厚木東高等学校の新入生として】

ただいま、5クラス、200名の入学を許可いたしました。

皆さんは、創立117年目となる本校の、厚木東高等学校としての、第77期入学生です。

明治39年に愛甲群立女子実業補習学校として開校して以来、時代

の変化に対応し、校名、形、場所も変えながら、明治・大正・昭和・平成・令和と歴史を刻み、県立高校屈指の広大な敷地と、自然豊かな環境の中で、穏やかで落ち着いた校風を積み上げてきました。関東大震災や太平洋戦争等、幾多の苦難を乗り越えてきたその精神は、現在のコロナ禍でも受け継がれ、オンライン授業の実施対応など、環境に負けない「学びの継続」がなされているところです。

【新校に向けて】

一方、2年後にお隣の厚木商業高等学校との統合を控えている本校にとって、皆さんは、新校の「第1期卒業生」でもある。このような特別な立場となる代は、長い歴史の中でもまれなことです。

これから始まる2年間は、統合の為の準備の中にあります。

校名や制服など、新しくなるものについて意見が求められることもあるでしょう。また、新校舎の建設工事など、皆さんに不便を強いてしまうことも、いくつかあると思います。そんな本校の状況を理解したうえで、本校を志願し、入学してくれた皆さんをうれしく思うとともに、高校生活と、その先の進路選択が確かなものとなるよう、ここにいる職員全員、全力で取り組んでいかなければならないと、皆さんを前に決意を新たにしているところです。

今日校門を入ってきたところにできる新校舎、その最初の使い手になる皆さんと、学校とが一緒に成長していくことになります。お互い頑張りましょう。

【本校の目指すもの…「学ぶ」とは？】

本校は育てたい生徒像として「他者を思いやり、自己実現に向けて果敢に挑戦する生徒」を掲げています。他者を尊重し合うことと、自分を大切にし、磨いていくこと。この2つこそ、社会人となった時、「人と人とのつながり」によって、「1+1」を「3・4…」と出来る力、「社会を作り発展させていく力」の基礎をなすものなのです。いま世界では、不幸にも、互いに理解しあえない結果として、多くの尊い命が奪われるような事案が発生しています。このようなことになる前に、争いを回避し解決する。そのためにも、この力は大変重要です。

さらに、そのために身につけて欲しい能力の1つ目として、
「自ら課題を見つけ主体的に学び続ける能力」
を掲げています。

ここで皆さんに質問です。では「なぜ、人は学ぶのか？」
成績や進学の為？

それも決して間違いじゃない。でもそれだけでしょうか？
学ぶことによって得られるもの、それは「正しい知識」です。

【「知識のワクチン」…学ぶことの意味】

コメンテーターとしてテレビ等で観ることの多い、感染症学・ワクチン学が専門の岡田晴恵さんは、ご自身がメディアに出続けた理由を問われた時に、「知識のワクチン」という言葉をお使いになっています。

ワクチンを接種することで、ウイルスに対抗する力を得るように、人は確かな「正しい知識」によって「不確かななぜ？」に対する答えが見つければ、自信を持って行動できる。だから「正しい知識」は心のワクチンなのだ、というのです。

逆にいえば、私達の身の回りには、実に多くの「不確かなこと」や「無意識に生じる思い込み（アンコンシャスバイアスともいうそうです）」が存在しており、時にそれを「不確かな根拠」としたり、「自分に都合よく解釈」したりして、行動している…とも言えるのです。

その結果、時に自分が望んでいた結果が得られなかったり、その言動が、他人を差別し傷つけてしまったりすることもある。

私自身、この話にハッとさせられ、また反省もしました。自分にも思い当たる節はいくつかあるのではないかと…。

なので、「学ぶこと」によって「正しい知識を得るための作業」を続け、それぞれが、自分らしく生き、他者を尊重し合い、「主体的に新しい社会を築いていく」ための基礎を蓄えることこそが、「学ぶ」ことの意味であると、私は考えます。

【まとめ…厚木東高等学校での学び】

そこで、今日から始まる高校生活の中では、皆さんには先ず「学ぶ

こと」にまっすぐに取り組んでほしい。そして、その「学び」の中から得られた多くの「正しい知識」を使って、自信を持って判断し行動することができる若者へと、育てて行ってほしい。

これが、校長としての私の願いです。

「学ぶこと」に対して、厚木東高等学校は常に皆さんとともにありつづけます。

これから、一緒に頑張っていきましょう。

令和4年4月7日

神奈川県立厚木東高等学校 校長 梅澤 広昭

